

平成 25 年度事業報告書

法人の名称 NPO法人ロボティック普及促進センター

1 事業の成果

設立 3 年度目にあたり、定款事業の本格実施に向け、引き続き次の事業の実施を通じて関係機関等との協力体制の構築に取り組んだ。

「ロボットビジネスに係る相談支援事業」は、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会の事務局として、展示会などにブースを出展。また、「実証実験支援事業」に参画した。
(詳細は、(1) (ア))

「ロボットに関する研究開発事業」は、神奈川県で採択されたベンチャー支援事業（新産業ベンチャー起業化支援事業）を実施した。(詳細は、(1) (イ)) また、東燃ゼネラル石油川崎工場の配管点検固着物除去ロボット（弁固着解消治具）の開発支援を行った。

「ロボットに関する普及啓発事業」は、神奈川県の「ロボット関連技術に関するセミナー開催等運營業務」を受託し、ビジネスセミナーを実施（平成 25 年 6 月、10 月、11 月、平成 26 年 2 月）。また、ハウスクエア横浜で「ロボット教室」を開催。また、昨年度に引き続き、神奈川大学などと共に学童の親子を対象とした「親子ロボット教室」を開催した。
(詳細は、(1) (エ))

今年度より、その他の事業として、損害保険代理業を実施した

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

(ア) ロボットビジネスに係る相談支援事業

① ビジネスプラン策定支援事業

かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会の事務局として、展示会などにブースを出展し、ロボットビジネスの相談支援活動を行なった。

・アイフェスタ/視覚障害者福祉機器展

会期：4 月 14 日（日）

会場：神奈川県ライトセンター

・第 20 回かわさきロボット競技大会

会期：8 月 24 日（土）～25 日（日）

会場：川崎市産業振興会館

・2013 国際ロボット展

会期：11 月 6 日（水）～9 日（土）

会場：東京ビックサイト（国際展示場）

- ・神大テクノフェスタ 2013 プレイイベント

会期：11月18日（月）

会場：神奈川大学横浜キャンパス

- ・神大テクノフェスタ 2013

会期：12月6日（金）

会場：神奈川大学横浜キャンパス

②実証実験支援事業

神奈川県が国の特区（さがみロボット産業特区/平成25年2月）になったことを受け、実証実験実行委員会の実施主体はこれまでの県、川崎市産業振興財団、かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会に神奈川産業振興センター、かながわ福祉振興会を加えた5社で取り組むことになった。当協議会は引き続き、事務局スタッフの派遣やコーディネーター業務などを行った。

内容：次世代サービスロボット及び関連機器等（以下「ロボット」）を対象テーマとして、ロボットメーカーや開発者からの幅広い用途・使用場所を想定した実証実験の計画（企画）を募集し、選考・採択した計画について、実際に実証実験の実施を通じて、ロボット実用化の可能性を探る実証実験支援事業の事務局業務を担った。

事業期間：平成25年5月～平成26年3月

実施場所：神奈川県内（主に県央地域）

支出額：983,830円

また、実験実施者の結果報告会を実施した。

会期：平成26年2月28日（金）

会場：厚木商工会議所 大会議室（厚木市）

参加者：83名

（イ）ロボットに関する研究開発事業

①ベンチャー支援事業

神奈川県で採択されたベンチャー支援事業（新産業ベンチャー起業化支援事業）を実施した。

内容：同事業により採択された合同会社クリエイドが開発を進めているロボット（介護作業等における身体負担軽減を目的としたアシストロボットの開発）の企業化支援パート

ナーとして、開発に係る市場調査、特許出願、身体的負担軽減の効果の実証を行った。

1)市場調査：埼玉県の特養老人ホームで現場スタッフ（介護士、看護師）、施設長へのヒアリング（腰痛に関する現状、開発対象のニーズ、受容性について等）と介護動作確認・分析のための動画記録を実施した。

2)特許出願：基盤技術(機構・制御関連)についての特許を出願した。

3)効果実証：横浜市総合リハビリテーションセンターで筋電位計測を行い、装置の負担軽減効果を検証した。

期間：平成 25 年 7 月 10 日～平成 26 年 3 月 15 日

場所：埼玉県の特養老人ホーム、横浜市総合リハビリテーションセンター ほか

支出額：1,838,283 円

②ロボット開発事業

京浜コンビナート地区のプラント工場内の配管の固着物を点検・除去するロボット（弁固着解消治具）の開発支援を行った。

期間：平成 25 年 7 月 25 日～平成 26 年 3 月 28 日

場所：京浜コンビナート地区のプラント工場内

支出額：3,234,540 円

(ウ) ロボットの安全性に関する事業
実施せず

(エ) ロボットに関する普及啓発事業

①ビジネスセミナーの開催事業

神奈川県との共催により開催した。講演テーマについては、生活支援型（サービス）ロボットの動向や開発事例などを紹介した。ロボットの動向などを広く知ってもらうため、大きな展示会や実証実験閣下報告会などの併催行事として実施した。また、開催告知、開催報告、アンケート集計結果を協議会ウェブサイトで周知した。

【第1回】ロボットビジネスセミナー

開催日：平成 25 年 6 月 11 日（火）

会 場：神奈川県高相合同庁舎 4 階大会議室（相模原市）

参加者：52 名

(内容)

○講演 I 「ロボット関連技術の動向」

北島明文氏 経済産業省製造産業局産業機械課 課長補佐

○「日本の超高齢社会の課題と実用化が進むロボット福祉機器」

田中一正氏 大和ハウス工業株式会社 理事 ヒューマン・ケア事業推進部長
ロボット事業推進室長

・【第2回】ロボットビジネスセミナー 「2013 国際ロボット展」の併催行事

開催日：平成 25 年 11 月 8 日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東2ホール ワークショップ会場A（東京都江東区）

参加者：83名

（内容）

・自動運転・隊列走行技術の紹介（10：10～11：10）

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構省エネルギー部
岩井信夫氏

・神奈川発！！ロボット関連優良技術の紹介（11：10～12：30）

1. ロボット技術を用いた社会インフラおよびプラントの構造物診断

（株式会社イクシスリサーチ）

2. 「超薄膜・感圧／重量センサー」人間の皮膚を目指す技術

（株式会社マルサン・ネーム）

3. ダブル技研のD－H a n d

（ダブル技研株式会社）

4. 超薄型の静電エンコーダ及びクリニック感発生用HAPTICアクチュエータの紹介

（株式会社青電舎）

5. 外壁調査診断ロボット

（株式会社 小川優機製作所）

6. 水中浮力調整機構とその周辺機器

（日本潜水機株式会社）

7. MDK非破壊検査装置のご紹介

（偕成エンジニア株式会社）

・「介護・医療ロボットワークショップ」 かながわロボットミーティング

日 時：平成 25 年 10 月 23 日（水） 13：00～16：25

会 場：神奈川県産業技術センターC 会場（海老名市）

参加者：44 名

ワークショップⅠ 「パワーアシストハンド」

浜辺俊也氏 LLP アトムプロジェクト 理事

ワークショップⅡ 「視覚障害者向けガイダンスロボット」

飛田和輝氏 日本精工株式会社 技術開発本部 未来技術開発センター
開発第一部 副主務

【第3回】ロボットビジネスセミナー ロボットミーティング第1部

開催日：平成 26 年 2 月 28 日（金）

会 場：厚木商工会議所 大会議室（厚木市）

参加者：83 名

（内容）

・災害対応ロボット開発事例の発表

「人の役に立つロボットの創造」

広瀬 茂男氏 (株)ハイボット 取締役 CT0 / 東京工業大学名誉教授

支出額：191,479 円

c. Web 作成・更新作業

期間：平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

従業者人員：1 名

支出額：63,000 円

②教育セミナー等について

一般の方にロボット関連技術を知ってもらうきっかけになることを目指して、「ロボット教室」を開催。また、昨年度に引き続き、神奈川大学などと共に学童の親子を対象とした「親子ロボット教室」を開催した。

①「ロボット教室」

内容：ハウスクエア横浜の夏休みイベントの運営に協力。

期間：平成 24 年 8 月 22 日

会場：ハウスクエア横浜（横浜市都筑区）

従業者人員：1 名

対象者： 12組 24名（参加者）

②「親子でワクワク！！ ロボット教室」

内容：学生の就職活動と企業のインターンシップ、地域の学童保育とを連携させて開催。

（国立青少年教育振興機構・子どもゆめ基金助成金）

期間：平成 25 年 12 月 14 日

会場：神奈川大学横浜キャンパス（横浜市神奈川区）

従業者人員：1名

対象者： 20組 40名（参加者）

支出額：202,833円

（2）その他の事業

（ア）文書作成等の事務処理代行及び請負
実施せず。

（イ）損害保険代理業

法人設立時より「損害保険代理業」の検討、準備を行なってきたが、平成 24 年 11 月 29 日に NPO 法人として日本ではじめて、損害保険の代理店として登録（東京海上日動火災保険から保険業務を委託。代理店名は「ロボット保険サービス」）。平成 25 年 4 月 1 日に東京海上日動火災保険㈱の代理店である㈱東海日動パートナーズ横浜と損害保険の共同募集に関する契約書を結び、平成 25 年度より事業を開始した。

内容：ロボットを活用したビジネス、先端実験（ロボットや自律走行車等）、競技大会、
工作教室、学会イベントなどの保険及び損害保険全般

期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

従業者人員：1名

3 報告事項

- ・平成 25 年 7 月 26 日に神奈川県「指定」NPO 法人の申請を行い、平成 25 年 12 月 27 日に神奈川県より「指定」NPO 法人として認可された。
- ・平成 26 年 2 月 19 日に「認定」NPO 法人の申請を行った。